



平成29年2月28日

平成28年度第10回定例記者会見

日時：平成29年2月28日（火） 11:00～12:00

場所：豊橋技術科学大学事務局3階 大会議室

<記者会見項目予定>

- ① TUTグローバルハウス及び附属図書館に係る竣工記念式典、
披露会及び祝賀会について
【学長 大西 隆】（別紙1参照）
- ② 男女共同参画推進活動報告
 1. 冊子完成：理系女性研究者の活躍促進シンポジウム（2016年8月23日）
 2. JST女性研究者活動支援事業報告：26-28年度（連携型）
 3. 図書館女性支援エリア（3月28日披露会）【男女共同参画推進本部 副本部長/学長補佐 中野 裕美】（別紙2参照）
- ③ 地震火災への備えの重要性
（火災旋風の脅威と対策）
【機械工学系 准教授 中村 祐二】（別紙3参照）
- ④ =体験型防災講座=
やってみよう！ 多文化のまちで暮らす 豊橋の防災
【安全安心地域共創リサーチセンター】（別紙4参照）
- ⑤ 先端農業・バイオリサーチセンターより
 1. 10周年記念式典開催（3月5日）
 2. 平成28年度「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了式（3月14日）【先端農業・バイオリサーチセンター長/副学長 井上 隆信】（別紙5参照）
- ⑥ こども未来館ここにこに未来の車がやってくる！！
超ふしぎ！ 電池を入れずになぜ走る？
夢の技術「電化道路電気自動車」
【未来ビークルシティリサーチセンター長 大平 孝】（別紙6参照）
- ⑦ エレクトロニクス先端融合研究所 プロジェクト研究成果報告会
ーバイオ情報技術の社会応用ー
【エレクトロニクス先端融合研究所（EIIRIS）】（別紙7参照）
- ⑧ 豊橋技術科学大学 開学40周年記念事業
技術支援室報告会 ー大学の教育と研究を高度な技術でサポートー
【技術支援室】（別紙8参照）
- ⑨ 平成29年度 定例記者会見日程予定（別紙9参照）

<本件連絡先>

総務課広報係 河合・高柳・梅藤

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成 29 年 2 月 28 日

TUT グローバルハウス及び附属図書館に係る竣工記念式典、 披露会及び祝賀会について

豊橋技術科学大学開学 40 周年記念事業として進められている、「TUT グローバル
ハウス」及び「附属図書館」が平成 29 年 3 月 28 日に竣工予定です。

ついては、学内外の関係者等を招待し、以下のとおり竣工記念行事を開催します。

※当日、各行事とも取材可能です。

【竣工記念行事概要】

(開催予定日)平成 29 年 3 月 28 日(火)

(開催場所) 豊橋技術科学大学内「TUT グローバルハウス」及び「附属図書館」

(記念行事概要)

- ☐ 記念式典 (学長式辞、来賓祝辞)
- ☐ 披露会 (テープカット、建物概要説明、建物見学)
- ☐ 記念祝賀会

【実施場所・タイムスケジュール】

○場所

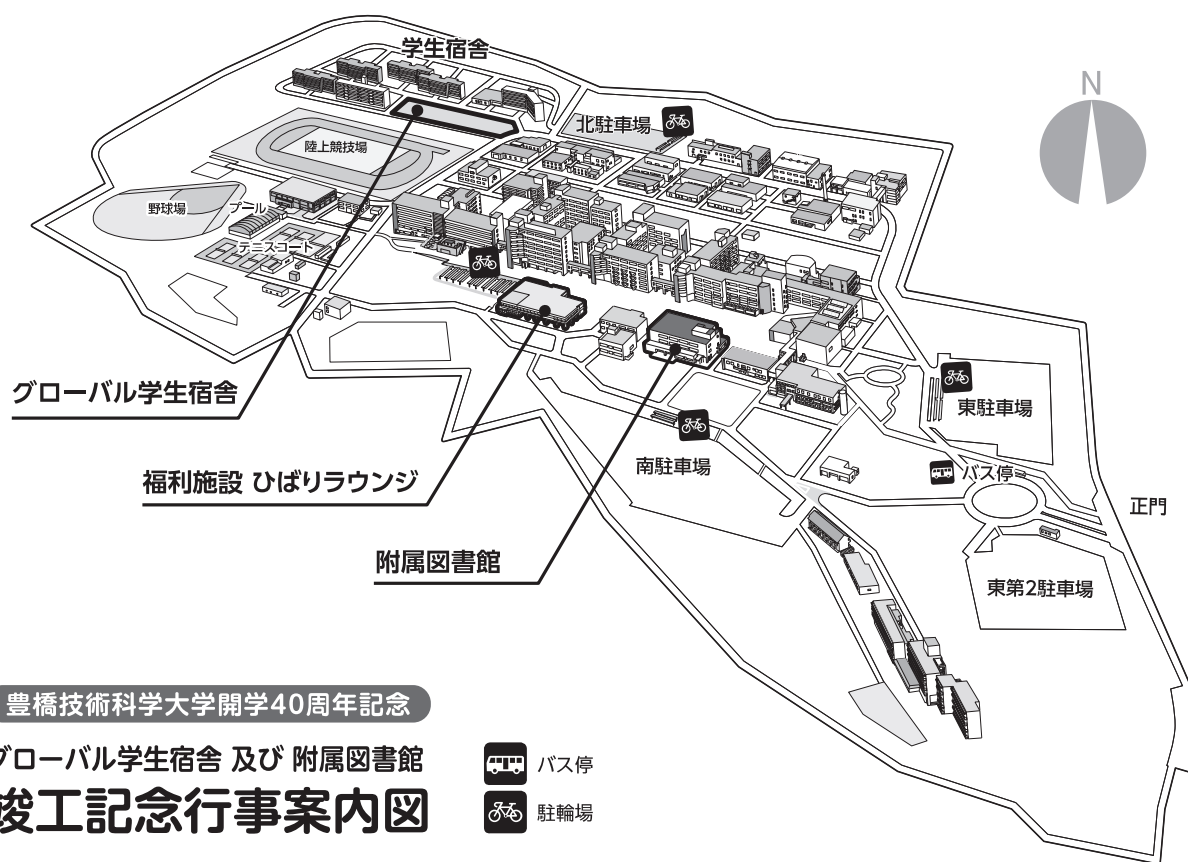
- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ・ 記念式典 (TUT グローバルハウス集会棟) | 13 : 30 ~ 14 : 00 |
| ・ 披露会 (TUT グローバルハウス) | 14 : 00 ~ 14 : 30 |
| ・ 披露会 (附属図書館) | 15 : 00 ~ 15 : 30 |

※実施場所に係る詳細は、次ページ以降参照願います。

本件に関する連絡先

担当者 総務課総務係 TEL:0532-44-6504

広報担当: 総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506



TUTグローバルハウスについて

平成 27 年スーパーグローバル大学創成支援事業の採択に伴い、グローバル技術科学アーキテクト養成コースの新設に合わせて、日本人学生と外国人留学生が生活を共にする、収容人数 180 人のシェアハウス型「TUT グローバルハウス」を建設することとなりました。ここでは、日本人と留学生と一緒に生活し、国内にしながら国際生活を体験できる環境とし、ハウスマスターを中心として教育プログラム等を実施します。これにより、世界に通用する人間力を備えたグローバル技術科学アーキテクトを養い、多文化共生グローバルキャンパスの実現を図ります。

1 棟鉄骨造 3 階建て 30 人収容を 6 棟と集会所 1 棟を建設します。1 ユニットは、5 人の個室（8 m²）と共用のリビング・ダイニング・キッチン、シャワールームを備えています。

平成 29 年 3 月に 2 棟と集会所、平成 30 年 3 月に 2 棟、平成 31 年 3 月に 2 棟が完成します。

「TUT グローバルハウス」の設計、建設、維持管理、運営については、PPP 方式により、宿舍料を財源として、大和ハウス工業(株)等のグループが、平成 61 年までの 30 年間行います。



外 観

建物仕様 : 学生宿舍 鉄骨造 3 階建て 5 人を 1 ユニットとしたシェアハウス型
1 棟 (1.109 m²) 30 人収容を 6 棟
個室面積 約 8 m²
集会所 1 棟 (145 m²)

工事期間 : 第一段階 平成 29 年 3 月 完成（什器含む） 学生宿舍 2 棟及び集会所
平成 29 年 4 月～供用開始
第二段階 平成 30 年 3 月 完成（什器含む） 学生宿舍 2 棟
平成 30 年 4 月～供用開始
第三段階 平成 31 年 3 月 完成（什器含む） 学生宿舍 2 棟
平成 31 年 4 月～供用開始



平面図

共用リビング・ダイニング・キッチン

個室



完成配置図

附属図書館について

図書館は、昭和 55 年(1980)に建設され、全学における学術情報のセンターとして資料の収集・保存・提供を通じ、学生・教職員の教育・研究・学習活動を支援してきました。

平成 23、24 年度にトイレ改修等部分改修を行ってきましたが、経年による老朽化が進んできたこと、近年の図書館の在り方に合わなくなってきたことを踏まえ、図書館を改修する必要性が生じました。改修に当たっては、外部パブリックスペースも図書館と一体的に活用出来るように整備することとなりました。

改修にあたり、改修計画検討専門部会、書籍配置計画等件と検討専門部会を設置し、時代と学生等の要望にあった図書館に改修する計画をまとめました。

改修後は、技術科学によるイノベーション創出や、グローバルに活躍できる指導力のある優れた技術者・研究者の育成のため、多文化共生グローバルキャンパスの核として、キャンパスの中央に位置する図書館の 1 階に日本人学生、留学生、教職員、企業、地域との交流等を行うエリアとして整備し、グローバル化をキャンパス全域に波及させます。

また、女性専用の休憩室、授乳室等の女性支援エリアを新設し、女子学生、女性研究者等のサポート体制の充実強化により学修しやすく、働きやすい環境を創出します。

なお、図書館北側の外部パブリックスペースについても、図書館と外部パブリックスペースを内部から外部へのつながりや人の流れを大切にしたい一体的な空間として整備し、質の向上を図ります。

2 階は、資料を使い個人、数人で学修するエリア、3 階は、研究等個人で静かに学修するエリアとし、平成 29 年 3 月に完成し、4 月から供用開始となります。



北側外部パブリックスペースの増設により一体的な空間として質の向上を図る

工事期間	： 平成 29 年 2 月 28 日完成
什器搬入等	： 平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
供用開始	： 平成 29 年 4 月～
工事費	： 約 3.5 億円（什器含む）
面積	： 3,360 m ²



北 側（外部パブリックスペース）



1 F（マルチプラザ）



2 F



3 F

豊橋技術科学大学附属図書館改修計画（グローバル人材教育支援施設(仮称)）

R (2,960 ㎡) 機能改善

技術科学によるイノベーション創出や、グローバルに活躍できる指導力のある優れた技術者・研究者の育成のため、多文化共生・グローバルキャンパスの核として、キャンパスの中央にある図書館の1階を日本人学生、留学生、教職員、企業、地域との交流等を行うエリアとして整備し、グローバル化をキャンパス全域に波及させる。また、女性専用の休憩室、授乳室等の女性支援エリアを新設し、女子学生・女性研究者等のサポート体制の充実強化により学修しやすく、働きやすい環境を創出する。

なお、図書館北側の外部パブリックスペースについても、図書館と外部パブリックスペースを内部から外部へのつながりや人の流れを大切にしたい一体的な空間として整備し、質的向上を図る。

コラボレーションエリア

- ・個人学修、グループ学修、セミナー、グループ作業
- ・日本人学生、留学生、教職員、企業、地域との交流
- ・日本人学生、留学生、教職員多言語交流
- ・日本文化、海外文化の紹介、体験
- ・映像、ホワイトボードを使用したディスカッション
- ・アイデアの創出、まとめ



一般の場合
個人、グループで自主学修、
学生交流

コラボレーションエリアの使用パターン



講演等の場合
学会、講演会等

ポスターセッションの場合

情報ラウンジエリア

- ・地域・社会への情報発信
- ・大学インフォメーション
- ・新聞

ワークステーションエリア

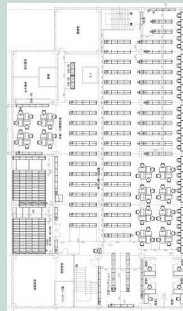
- ・ポスター印刷、資料ポスター
- ・映像の作成、編集
- ・PC機器貸出し

スタディサポートエリア

- ・教職員、日本人学生、留学生、専門家(企業等)による個人、グループに対して、学習相談、学習指導、留学相談、論文指導等。
- ・PC 操作方法、OPAC やデータベースを使って教育資料、論文等検索

図書館機能②

研究等個人で静かに学修



3 階平面図

図書館機能①

資料を使い個人、数人で学修



2 階平面図



カフェ店舗

- ・カフェ店舗の設置により、飲食可能エリアとして交流を促進させる。

女性支援エリア

- ・パウダールーム
- ・ロッカールーム
- ・休憩室、授乳室

グローバルレクチャーエリア

- ・英語・日本語等の語学力強化教育（講義、研修）（学生、教職員対象に人数に応じた分割使用）
- ・日本人と留学生の交流（英語力の向上）
- ・ネットによる国内外の優秀な研究者、企業人等の講義、講演
- ・海外教育拠点(ペナン校)及び海外協定校、海外企業との24時間ライブ発信による英会話等の多言語の実践教育交流
- ・日本文化、海外文化の紹介（留学生の自国紹介等）

ミーティングルーム (1) (2)

- ・卒業生、名誉教授、企業等の各種打合せ等

平成 28 年 1 月 26 日 現在

【参考】2月20日時点の工事進捗状況写真

- ・グローバル学生宿舎



- ・附属図書館





国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

平成29年2月28日

男女共同参画推進活動報告

1. 冊子完成：
理系女性研究者の活躍促進シンポジウム(2016年8月23日)
2. JST女性研究者活動支援事業報告：
26-28年度(連携型)
3. 図書館女性支援エリア(3月28日披露会)

<冊子完成>

2016年8月23日に「理系女性研究者の活躍促進シンポジウム」を開催しました。その内容を1冊の本にまとめました!



シンポジウムの内容を冊子にまとめ、450部を国内関係者に配布します!

1部の基調講演では女性の活躍の現状を多くのデータで示し、未来の女性活躍に向けたアイデアがたくさん示されています。

2部の討論会では、名大、名市大、本学のトップの先生が女性研究者の人材育成について、熱の入った討論を繰り広げ、今までにない本音トークを読むことができます。

今後の女性活躍促進に向け、この本が皆様のお役に立つことを期待します。

<図書館 女性支援エリア (Women's Lounge)>

本学は、大貝彰(理事・男女共同参画推進本部長)の下で女性教員継続勤務支援策検討WGを作り、アクションプランを提案してきました。その中の一環として、「女性が働きやすい環境を作るための支援エリア」として、図書館の一角に女性支援エリア Women's Lounge を設けました。

このエリアは、女性更衣室 Women's Dressing Room、多機能部屋 Tatami Room、女性休憩室&授乳室 Women's Relaxation Room の3部屋で構成されています。スタッフに限らず、学生や学会時の託児所として、またオープンキャンパス時には地域の方にもご使用していただけます。安らぎのある心地よい場所として、また多機能部屋 Tatami Room は、多くの異文化が交流する場所として、新図書館が多くの方に活用されることを期待します。

【男女共同参画推進本部URL】

<http://www.equal.tut.ac.jp/>

本件に関する連絡先

男女共同参画推進本部担当：総務課職員係 永田・王生 TEL:0532-44-6502

広報担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506



男女共同参画推進活動報告

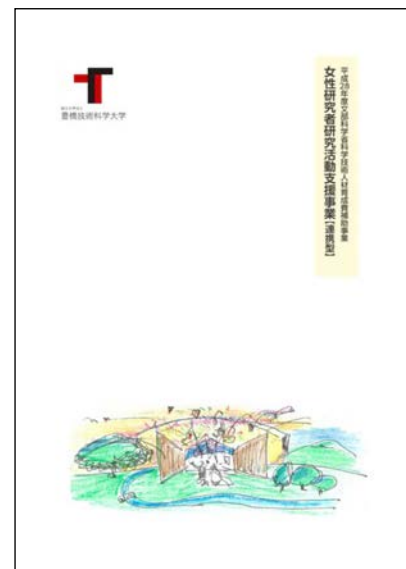
1. 冊子完成:
シンポジウム(2016年8月23日)
2. JST女性研究者研究活動支援事業報告:
26-28年度事業(連携型)
3. 図書館女性支援エリア(3月28日披露会)

豊橋技術科学大学
男女共同参画推進本部
中野裕美



冊子完成

- 国内関係部署に配布





理系女性研究者の活躍促進シンポジウム

あいちから日本へ、世界へ！

AICHI 女性研究者支援コンソーシアム

2016年 8月23日(火) 13:00～16:40

豊橋技術科学大学
1部・2部-A-101
3部・福利施設(ひばりラウンジ)

参加費無料 (託児あり無料) (駐車場あり)

プログラム

1部 講演会
13:00～14:10

開会挨拶 大員 豊橋技術科学大学 理事長 山本 隆
基調講演 川上 知紀 トヨタ女性技術者育成委員会 事務局長
基調講演 山村 康子 科学技術振興機構 プログラム主管
基調講演 西川 恵子 日本学術振興会 理事

2部 討論会
14:20～15:20

パネリスト 松尾 清一 名古屋大学 教員
部 健二 名古屋市立大学 学長
大西 隆 豊橋技術科学大学 学長
コーディネーター 中野 裕美 豊橋技術科学大学 学務部長

3部 カフェ交流会
15:40～16:40

参加者による交流会

主催：豊橋技術科学大学・名古屋大学・名古屋市立大学

豊橋技術科学大学

男女共同参画推進本部

3

女性研究者研究活動支援事業(連携型)

26年度～28年度 最終年度



* ひまわりはコンソーシアムのロゴマーク

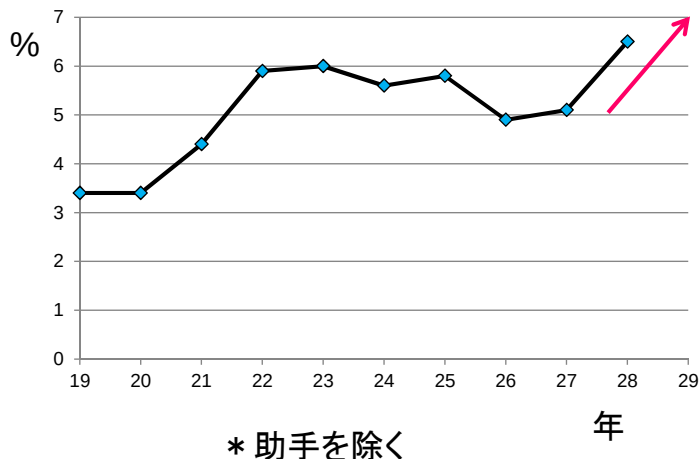
2 - 3

豊橋技術科学大学

男女共同参画推進本部

4

女性教員比率増加中!



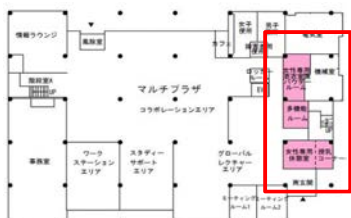
学長の強いコミットメント

- ・ 広告記事
- ・ 男女共同参画週間イベント
ロゴマーク
川柳コンテスト
- ・ シンポジウム
- ・ プレスリリース
- ・ 執行部向けセミナー
- ・ 女性研究者継続WG
- ・ 育児・介護制度パンフレット
- ・ 学長との懇談会
- ・ 女性限定公募

図書館内に女性支援エリアを新設

Women's Lounge

平成29年2月末 工事完了
3月28日 内覧会

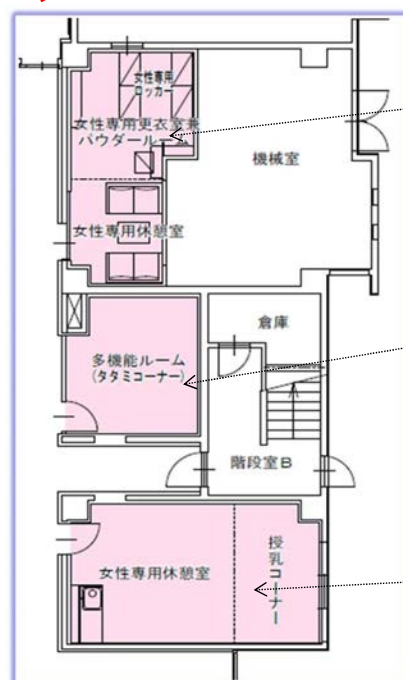


☆ライフイベント中の女性
支援エリア

☆シンポジウム・学会会期
中の託児所として

☆異文化・地域交流に

☆いろいろな場面に
対応できる多機能エリアとして



Women's
Dressing Room



パウダーコーナーのイメージ ※1

Tatami
Room



※2
タタミコーナーのイメージ

Women's Relaxation
Room



授乳コーナーのイメージ ※3



男女共同参画推進に向けて

- 川柳やロゴマークは、学内の意識向上のために広く周知し、活用します。
- 男女共同参画推進のために、関連する情報を提供し「見える化」を行います。
☆昨年は男性職員が初の育児休暇(3か月間)を取得しました。
- 育児・介護のための支援パンフレットにより、学内制度を周知・活用、さらに充実していきます。
- 理系女子(小・中・高校生)を増やすためのイベントを地域と協力して企画・開催します。





平成29年2月28日

地震火災への備えの重要性 (火災旋風の脅威と対策)

<概要>

大震災後には大規模火災が引き起こされますが、火災が大規模になるほど炎の竜巻と呼ばれる「火災旋風」の発生する可能性が高まります。この「火災旋風」の発生を阻止するためには、火災自体を起こさせないための初期防災が重要です。

<詳細>

大震災の後には大規模火災が引き起こされます。関東大震災の際には東京広域が火の海となり、避難区域（被服廠後）には大勢の人が避難しました。避難区域には燃えるものが何もなく安全であるはずなのに、そこに「巨大な高温竜巻」が縦横無尽に駆け巡り、4万人の避難者のうち3万8千人の方の命が奪われました。この被害をもたらした高温竜巻は「火災旋風」と呼ばれており、広島原発投下後にも発生したという記録があります。稀にしか発生しないわけではなく、今でも広域森林火災時には頻繁に、この「火災旋風」が発生する様子が世界中で放映されています。

いったん火災旋風が起これば、どこに動くのか予測することもできず、旋風の中に引き込まれてしまう危険性もあるため、近くによることもできず、止めることもできません。その発生原因や成長条件、動的特性などが本学を含めた様々な研究者により研究されています。これらの研究により、発生にはある風速条件を満たすことが重要な一つの要素であることはわかってきていますが、火災規模が大きくなると日常体験する自然風が発生条件範囲に合致してきます。そのため、火災旋風による被害を避けるには、そもそも大規模火災に至らしめないようにすることが最善の防御策になります。

地震起因の火災（地震火災）への防災対策は、自らの財産を守ることはもちろん、このような惨劇を避けることに貢献します。各位の防災意識の向上が期待されます。



大きな風洞での火災旋風

記者会見当日に中村准教授より、地震による火災被害、その脅威と対策について発表します。

本件に関する連絡先

担当：機械工学系准教授 中村 祐二 TEL:0532-44-6647

広報担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

地震火災への備えの重要性

～ 火災旋風の脅威と対策 ～

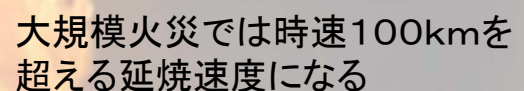
Mail: yuji@me.tut.ac.jp



※※※



阪神淡路・東日本大震災での延焼拡大

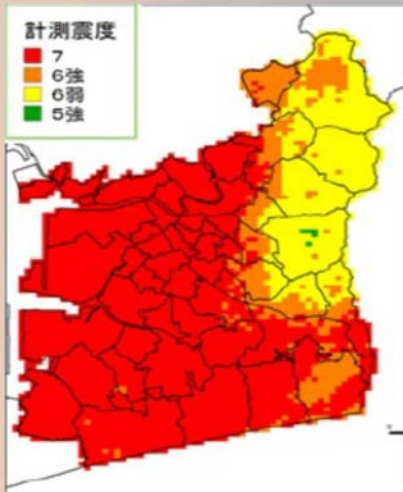


An aerial photograph capturing the devastating impact of a tsunami on a coastal town. In the foreground, a large, modern building complex with a grey roof is partially submerged in dark, turbulent water. Behind it, a dense residential area is being overwhelmed by massive, churning waves. A large, intense fire is visible in the background, with bright orange flames and thick black smoke rising into the sky, suggesting a major disaster event. The overall scene is one of chaos and destruction.



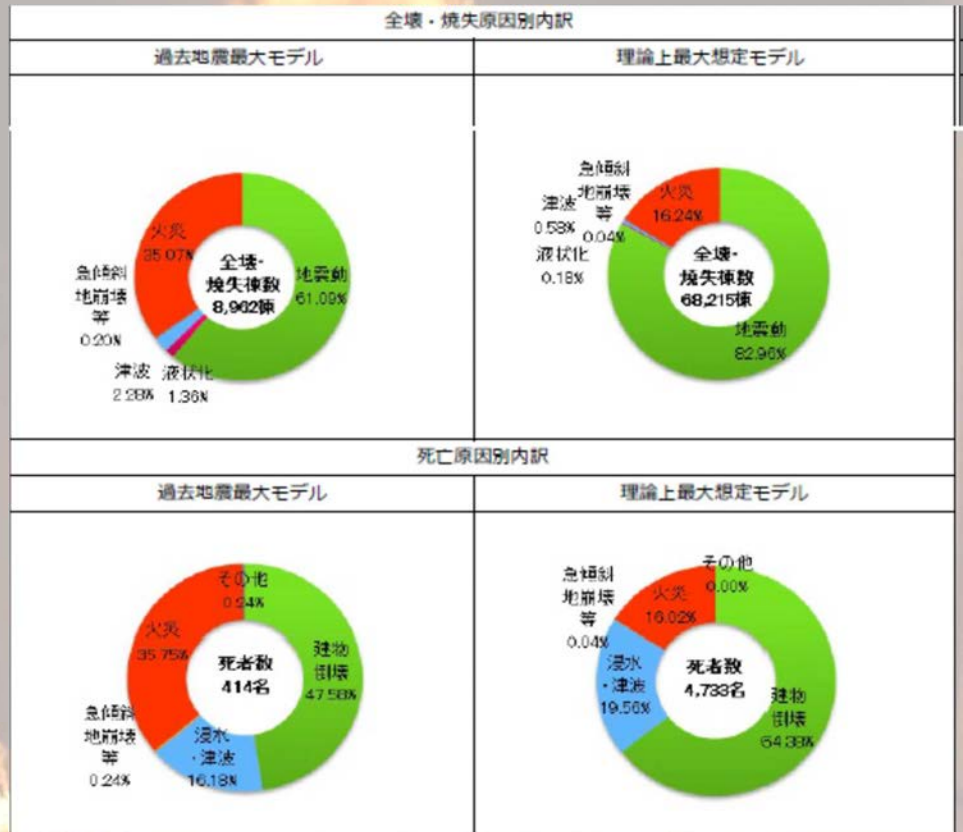
TOYOHASHI
UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

豊橋市の被害想定(理論上最大想定モデル)



木造家屋がこの範囲にどれだけあるかが、火災規模を決める？

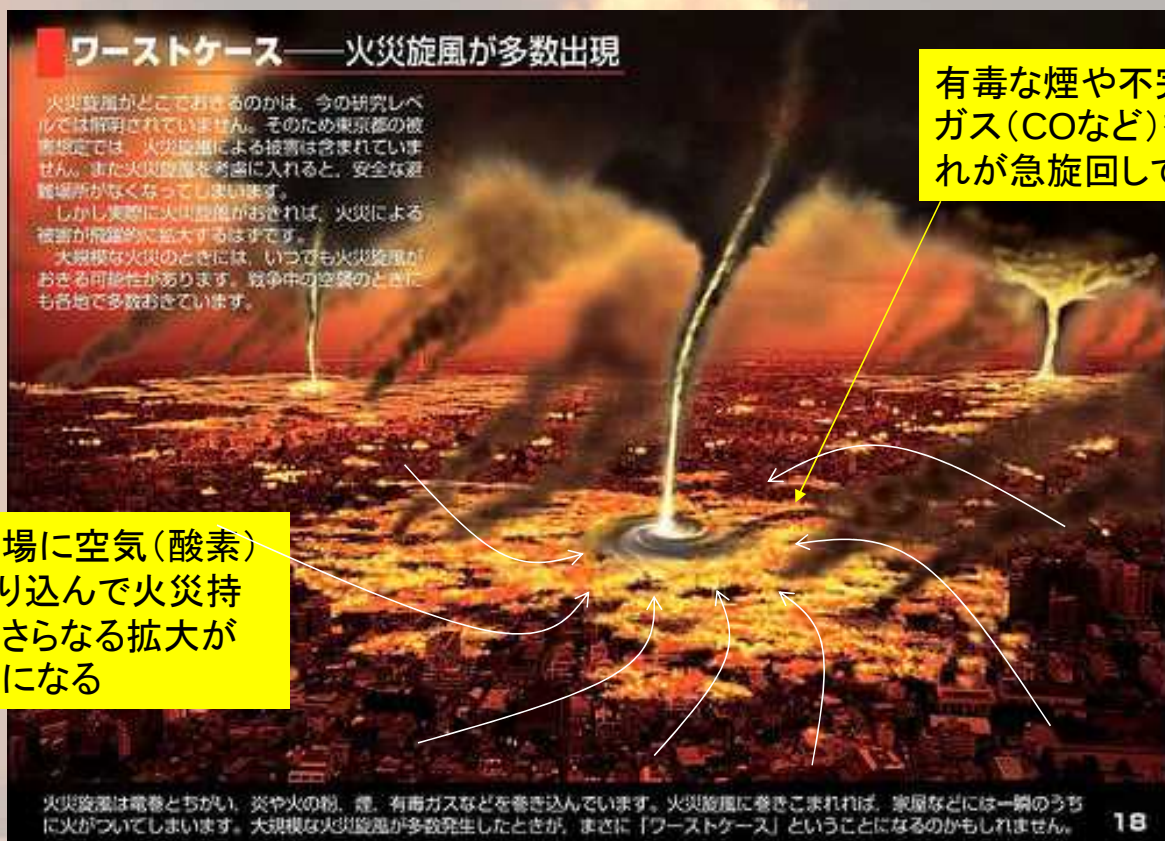
広範囲の火災が起きたときは「広域避難区域への避難」が求められている



豊橋市HPより抜粋

3

火災旋風がもたらし得る被害は甚大



火災旋風はなぜ危険？



オーストラリアでの火災旋風

<http://homepage2.nifty.com/artin119/size/10.html>より



東京都復興記念館所蔵

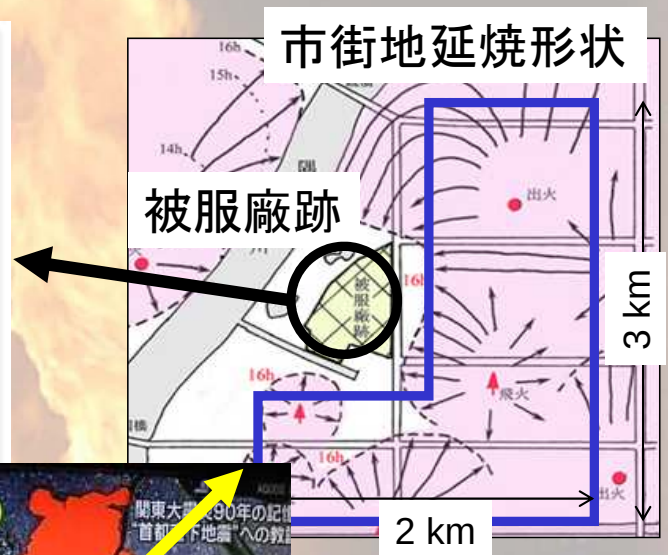
1923年、関東大震災での火災旋風
場所:被服廠跡, 死者:38,000名

- 炎をともなう「旋風」と呼ばれる竜巻状の空気の渦
- 大規模火災被害としての脅威(そのモビリティが未知＝消火戦略・避難方法が確定しない)

関東大震災の惨劇は「広域避難場所」で起きた

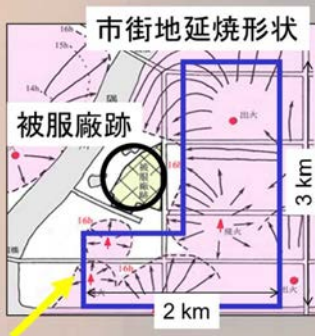
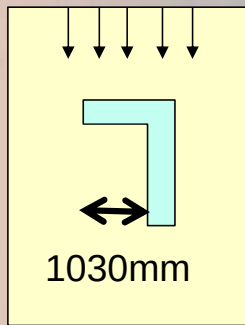


旧陸軍被服廠跡では避難した約4万人のうち約3万8千人が亡くなった。焼死体が折り重なるように埋め尽くした

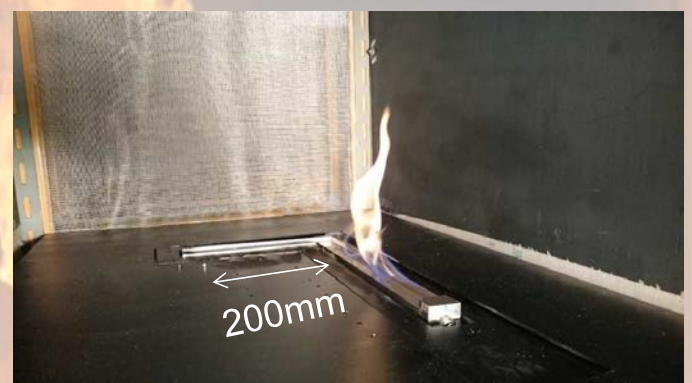


http://dil.bosai.go.jp/workshop/02kouza_jirei/s17fire/f4senpu.htm

大型火災風洞を用いた中規模火災旋風(@建築研究所)

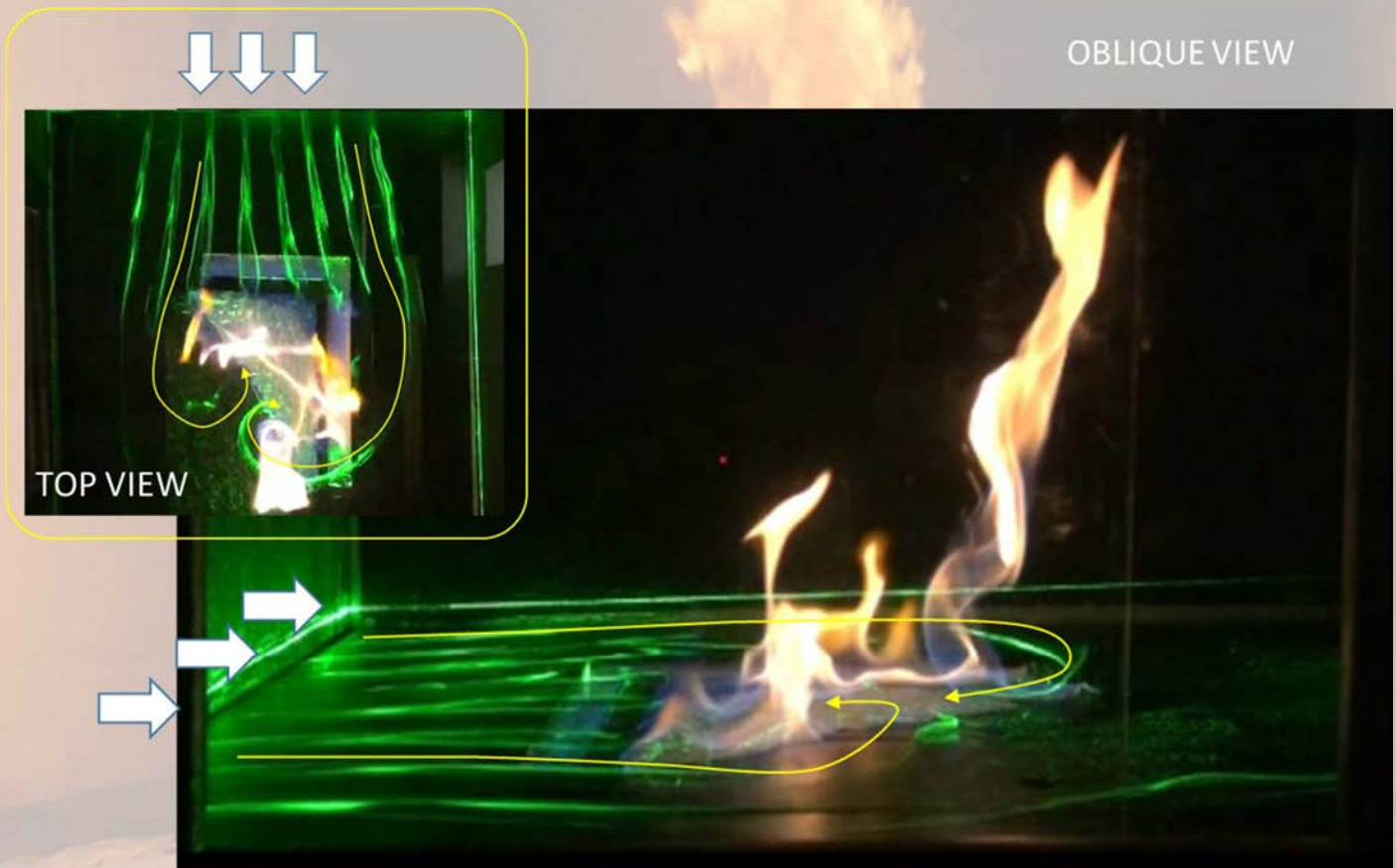


小型風洞を用いた火災旋風実験(@本学実験室)

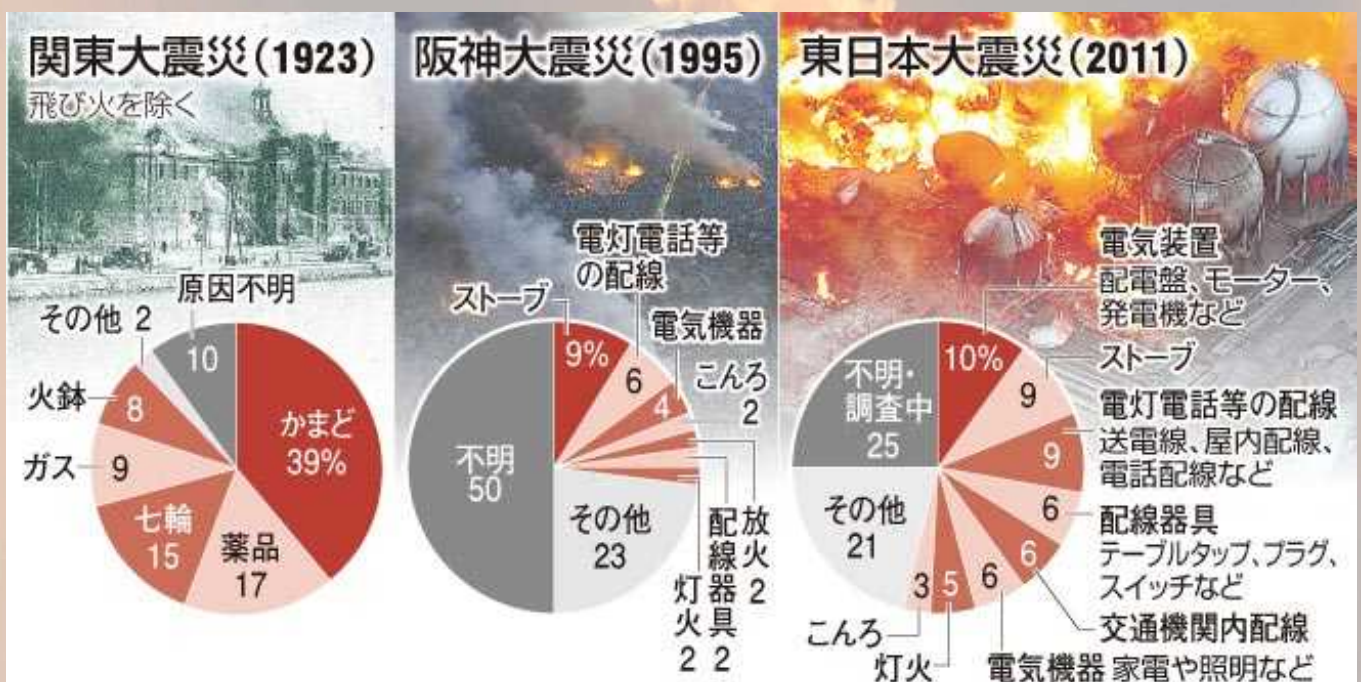


(容器幅 30mm, 風速0.3m/s)

1対の火災旋風の発現確認(火災領域を拡大した場合)



地震火災の発生要因の変遷

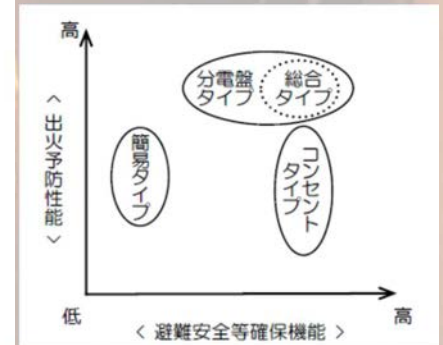
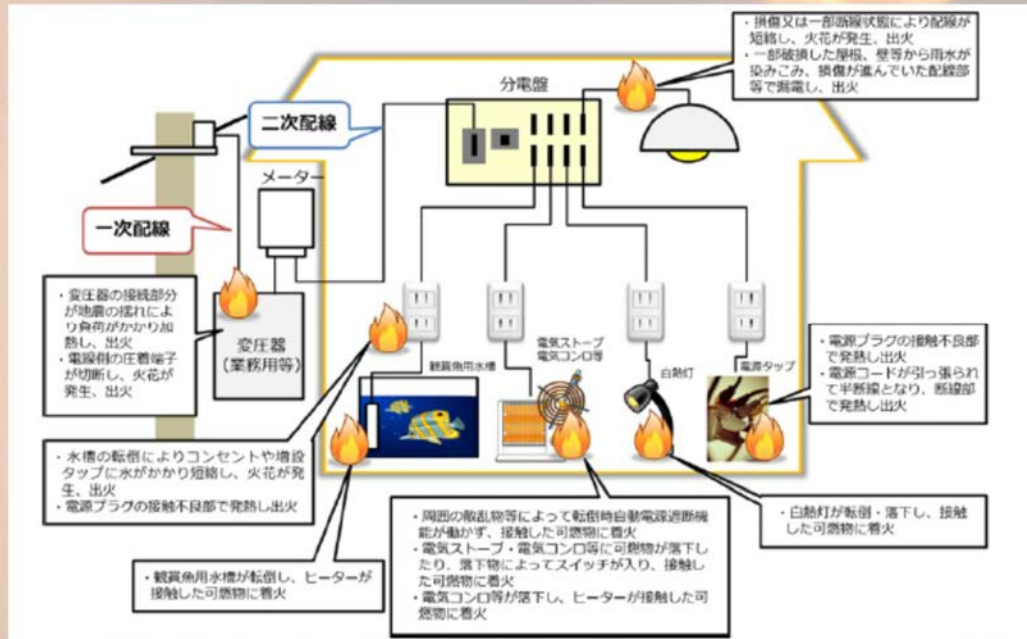


<http://www.asahi.com/special/saigaishi/jishinkasai/>

家庭でできる防災対策：電気火災

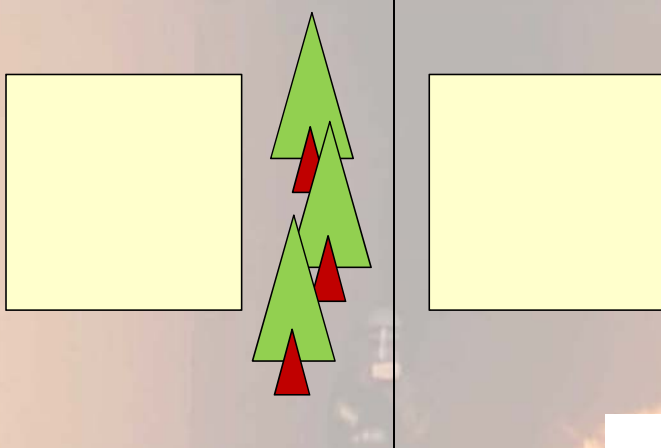
感震ブレーカー等の性能評価 ガイドライン 平成27年2月 - 内閣府

http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/pdf/kanden_guideline.pdf



①分電盤タイプ、②コンセントタイプ、③簡易タイプが対象

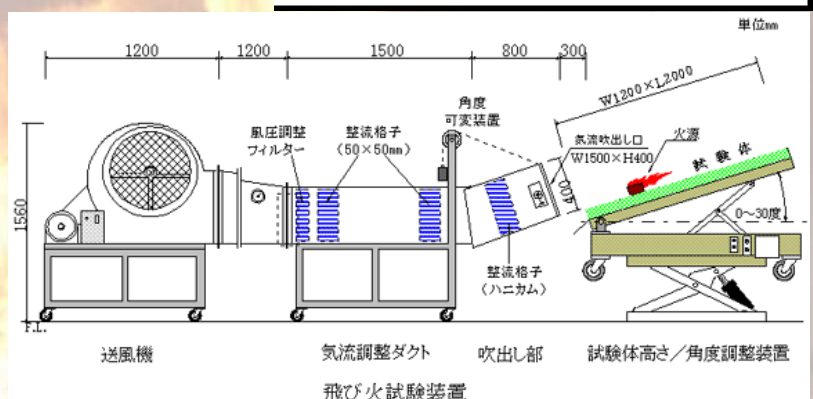
家庭でできる防災対策：飛び火・燃え移り対策



✓ 植樹による除熱効果(ただし燃え移り遅延にのみ効果的)

✓ 屋根の飛び火対策(火の粉に対する対応)

https://www.afgc.co.jp/product/roof_shingle/tokuchou2/bouka.html



<http://www.jtccm.or.jp/biz/hinsei/bou/tobihi.html>



 公益財団法人 **日本防災協会**
JAPAN FIRE RETARDANT ASSOCIATION



English Portuguese
中文 Tagalog
テキストあります

たいけんがたぼうさいこうざ
= 体験型防災講座 =

／やってみよう！／

たぶんか く
多文化のまちで暮らす

豊橋の防災

2017年

3月11日(土)

13:30~17:00

場所：あいトピア

定員：50名 (先着順)

参加費：無料

がいこくじんしみん さんかたいかんげい
外国人市民の参加大歓迎！

主催：豊橋技術科学大学

安全安心地域共創リサーチセンター CARM

共催：(公財)豊橋市国際交流協会

後援：豊橋市



プレゼント

さんかしやぜんいん
参加者全員に…

じしん お
地震ってどうやって起こるの？がわかる！

テキストをプレゼントします♡

English
Português
中文
Tagalog
日本語

プログラム

第1部＜地震発生メカニズム学習講座＞

こうし とよはしぎじゅつかがくだいがくきょうじゅ
講師：豊橋技術科学大学 教授

さいとうたいき
斉藤大樹

しみんむ じっし ぼうさいこうざ ないよう かいせつ
市民向けに実施している防災講座の内容をわかりやすく解説します。

ポルトガル語、英語、中国語、タガログ語のテキストを使います。

トークセッションも行います。



第2部＜地震ITSUMO講座＞

こうし ほうじん こうべじむしょちょう むろさきゆうすけ
講師：NPO法人プラス・アーツ神戸事務所長 室崎友輔さん

すぐに家庭で実践できる知恵や技をわかりやすくご紹介します。

- かえ かく てんとうぼうしたいさく
・ 帰ってすぐにできる家具の転倒防止対策
- ひさいしゃ まい ほんとう やくだ ぼうさい
・ 被災者に聞いた、本当に役立つ防災グッズ
- て て し さいがいじ れんらくほうほう
・ あの手この手を知っておく、災害時の連絡方法
- ふべん にじゅうさんじゅう たいさく
・ まさに不便！二重三重のトイレ対策
- た そな ひじょうしょく ほう
・ 食べながら備える非常食（ローリングストック法）
- かみしょっき たいけん
・ 紙食器づくり体験



【申込先】

こうえきざいだんほうじん とよはしこくさいこうりゅうきょうかい
(公財)豊橋市国際交流協会

TEL 0532-55-3671 / FAX 0532-55-3674

Eメール : tiea@tcp-ip.or.jp



平成29年2月28日

先端農業・バイオリサーチセンターより

1. 10周年記念式典開催（3月5日）
2. 平成28年度「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了式（3月14日）

<10周年記念式典概要>

先端農業・バイオリサーチセンターは、農業や農業関連の分野へ向けて農工融合型の研究開発と実用化を行うことを目標として、平成18年10月に設立されました。設立から10周年となるのを記念して式典を開催します。

<10周年記念式典詳細>

- ・日時： 平成29年3月5日（日）13:00～15:00
- ・場所： 豊橋技術科学大学 A-101講義室
- ・内容：
 1. 開式の辞
 2. 学長挨拶
 3. 来賓ご挨拶
 4. 基調講演 「視野を拡げてこれからの農業経営を考える」
名古屋大学名誉教授 竹谷裕之 氏
 5. 「先端農業・バイオリサーチセンター10年の歩み」
特命教授 三枝正彦
 6. IT農業ネットワーク活動報告
 7. 開式の辞
- ・出席者:本センターへご支援いただいている各自治体・地元企業・団体の皆様,
本センターが実施している人材育成事業の修了生・受講生、大学教職員
- ※一般市民への開放はいたしません。
- ※取材可能

当日は、修了生による成果物の発表展示を行う「アグリフェア」も開催しております。

<平成 28 年度「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了式概要>

先端農業・バイオリサーチセンターで実施する人材育成事業「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」の修了式を以下のとおり行います。

今回で 4 期生となる修了生は、平成 27 年 12 月から平成 29 年 3 月まで教室講義、e ラーニング講義、先端施設研修、課題研究を経て、今回の修了式を迎えます。修了生には、大西学長から『植物工場管理経営士』と『IT 食農先導士』の 2 つの称号が授与されます。修了生は、他の人材育成事業修了生とともに『IT 農業ネットワーク』を形成し、本地域における農業分野の活性化に貢献していきます。

<平成 28 年度「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了式詳細>

- ・日時： 平成 29 年 3 月 14 日（火） 10：00～11：00
 - ・場所： 豊橋技術科学大学 A2-101 講義室
 - ・内容：
 1. 開式の辞
 2. 「植物工場管理経営士」「IT 食農先導士」称号授与
 3. 学長式辞
 4. 『優秀成績賞』『課題研究優秀賞』授与
 5. 修了生答辞
 6. 閉式の辞
- ※取材可能

記者会見当日に、本記念式典および「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了式の詳細について、井上隆信先端農業・バイオリサーチセンター長より説明します。

本件に関する連絡先

担当： 先端農業・バイオリサーチセンター 事業推進室 TEL：0532-44-6655

研究支援課センター支援係 TEL：0532-44-6574

広報担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL：0532-44-6506



平成29年2月28日

**こども未来館ここにこに未来の車がやってくる！！
超ふしぎ！ 電池を入れずになぜ走る？
夢の技術「電化道路電気自動車」**

<概要>

本学で開発したバッテリーレス電気自動車の模型走行展示を「こども未来館ここにこ」で行います。EV 模型が道路インフラから高周波エネルギーを受けて、豊橋の街中を走行します。展示は2月27日（月）～4月25（火）を予定しております。

＊但し ここにこのイベント関連で展示を一時中止することがあります。

<詳細>

環境にやさしい乗り物である電気自動車。しかし、バッテリーの充電時間が長すぎるという問題から、なかなか普及には至っていません。そこで本学は電車のように道路インフラから直接エネルギーをもらって走行する電気自動車を開発しています。

本展示は豊橋市の街並みのジオラマの中を、道路から高周波エネルギーを受けて電池の入っていない電気自動車の模型が走行する様子をご覧頂くことができます。「どういう仕組みで電気自動車模型が動くのか？」を直に見ることができます。また、「この街は豊橋のどこかな？」お子さんと一緒になって考えてください。魅力的な豊橋市の未来ビークルシティ模型をこの機会に是非体験してみてください。



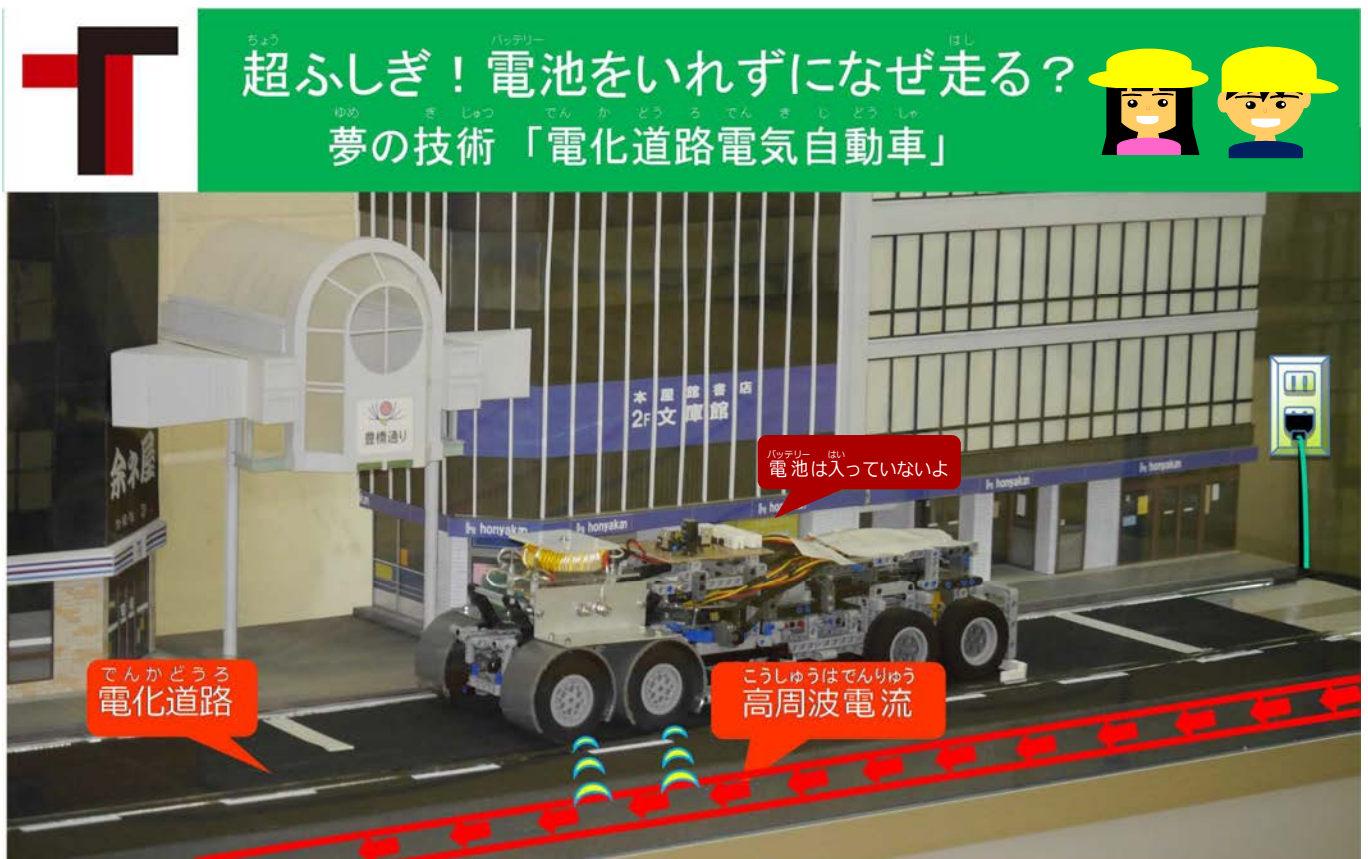
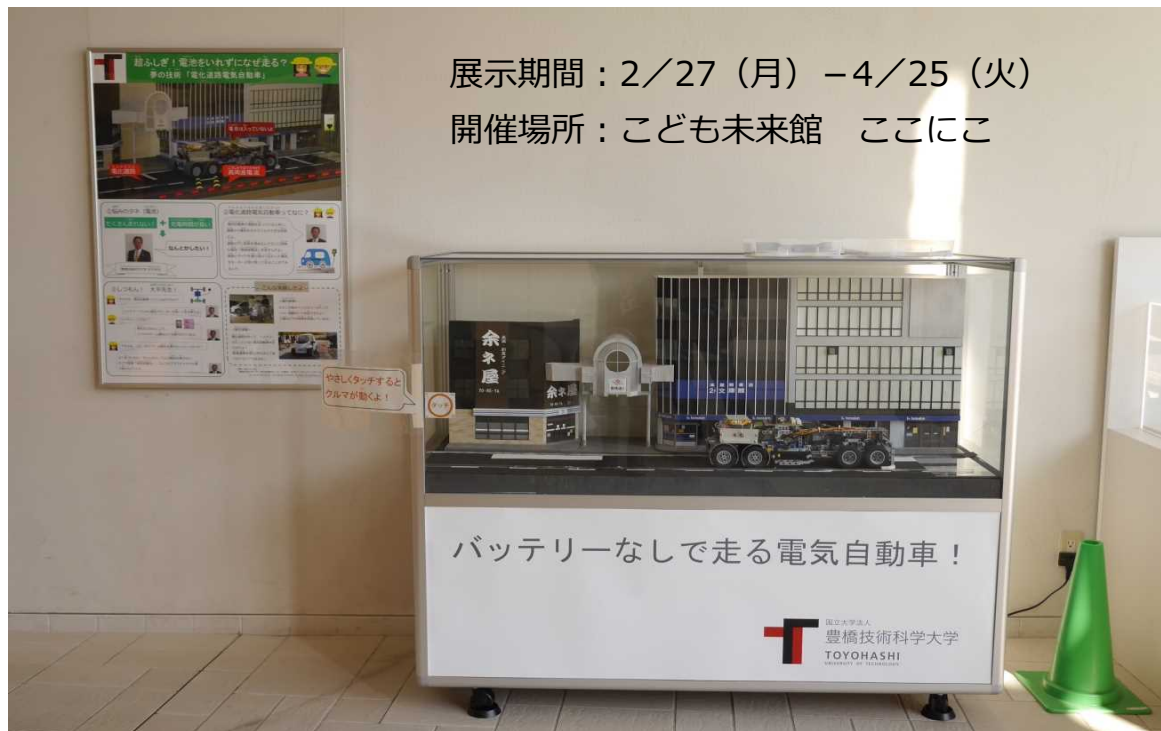
図. ここにこに展示する未来ビークルシティ豊橋のジオラマ

本件に関する連絡先

担当：未来ビークルシティリサーチセンター長 大平 孝 TEL:0532-44-6761

広報担当：総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

こども未来館ここにこに未来の車がやってくる！！
超ふしぎ！ 電池を入れずになぜ走る？
夢の技術「電化道路電気自動車」



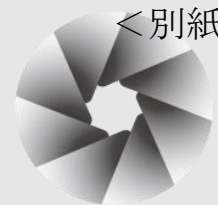
未来の電気自動車が、豊橋の街並みを走行します。ぜひ、ご覧下さい。

走行の様子



エレクトロニクス先端融合研究所 プロジェクト研究 成果報告会

—— バイオ情報技術の社会応用 ——



EIIRIS

Electronics-Inspired
Interdisciplinary
Research Institute

【日 時】 平成29年 3月10日(金) 13:00~18:00

【場 所】 A-114講義室

「EIIRISプロジェクト」は異分野融合研究を促進するためのエレクトロニクス先端融合研究所(EIIRIS)-学内教員間の共同研究プラットフォームです。
今回「バイオ情報技術の社会応用」と題し、EIIRISプロジェクト研究から関連の深い課題を選び、成果報告会を開催いたします。

【招 待 講 演】

▷ 1 細胞ゲノムとメタゲノムから 読み解くシロアリ腸内多重共生系

東京工業大学 本郷 裕一 氏

▷ 遺伝子工学的手法による蛍光 カルシウムセンサーの開発と生体応用

埼玉大学 中井 淳一 氏

▷ ウェアラブル脳波計による 無意識情報の可視化と社会応用

情報通信研究機構 成瀬 康 氏

成果報告は口頭発表 5 件、ポスター発表 1 6 件

聴講自由 (参加費無料)

プログラム詳細はWEB: <http://www.eiiris.tut.ac.jp/japanese/>

主催：豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所
事務担当 浮海 (内線 7245/ 直通 0532-81-5133)



豊橋技術科学大学 開学40周年記念事業

技術支援室報告会

—大学の教育と研究を高度な技術でサポート—

日時 2017年 3月27日(月) 13:30~16:10

場所 豊橋技術科学大学 A2-101 講義室

主催 豊橋技術科学大学 技術支援室

 協力：エレクトロニクス先端融合研究所, 教育研究基盤センター, 情報メディア基盤センター
 研究推進アドミニストレーションセンター(RAC)

後援：豊橋商工会議所, 株式会社サイエンス・クリエイト

プログラム

- 13:30 開会挨拶 豊橋技術科学大学長 大西 隆
- 13:35 技術支援室の活動 技術支援室長 滝川 浩史
- 13:45 **技術支援室 チーム活動紹介**
 先端融合研究支援チーム「フルカスタム LSI・センサの試作」
 分析支援チーム ……………「分析機器と学外利用の概要」
 工作支援チーム……………「アイデアを具現化するものづくり」
 情報基盤支援チーム ………「情報インフラの管理と運用」
 総合技術支援チーム ………「安全衛生管理の取組みと現状」

● 15:00 招待講演会


 武蔵精密工業株式会社
 研究開発部長

西村 直哉 氏

(2000 年 本学修士課程 機械システム工学専攻 修了)

ユニークで行こう!!



「バイク・自動車用部品 サプライヤーの魅力について」

- ・自動車部品の機能保証に向けた取り組み
(ディファレンシャルの事例)
- ・将来に向けた取り組み



● 16:00 閉会挨拶 理事・副学長 井上 光輝

講演終了後

- 16:10 学内見学会 (無料) (LSI 工場コース・分析機器コース・工作機械コース)
- 17:30 懇親会 (有料) (学内ひばりラウンジにて)


 技術を究め、技術を創る
 国立大学法人

豊橋技術科学大学

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘1-1

技術支援室紹介

技術支援室は、技術系職員から構成される教育・研究活動を支援する組織です。



▶ 分析支援チーム

- 表面分析
- 分光分析
- 結晶構造解析
- 学外利用



▶ 情報基盤支援チーム

- 計算機利用
- ネットワーク運用
- LMS 教材開発
- 遠隔講義

お問合せ先

豊橋技術科学大学 研究支援課
技術支援室報告会 担当 日比美彦・片岡嘉孝
TEL : 0532-44-6982
E-mail : tech40@ts.tut.ac.jp



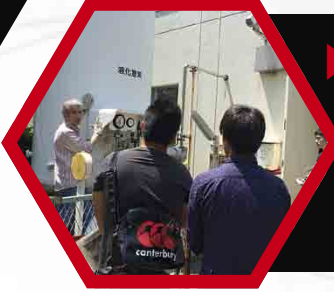
▶ 先端融合研究支援チーム

- LSI・センサ試作
- 半導体プロセス相談
- 技術講習会開催
- LSI 工場・装置管理



▶ 工作支援チーム

- 実験実習
- 機械加工
- 各種講習会
- 課外活動支援



▶ 総合技術支援チーム

- 実験実習
- 安全衛生管理
- 高圧ガス利用技術
- オープンキャンパス

【お申込方法】 所定の内容を御記入いただき、FAX または Eメールでお申込ください。

FAX : 0532-44-6984 E-mail : tech40@ts.tut.ac.jp

【申込責任者】 締切 : 3月17日(金)

貴社名		役職
フリガナ お名前	E-mail	
電 話	FAX	

※電話・FAX および E-mail アドレスは必ずご記入ください

【参加者】

フリガナ お名前	役職	見学会(無料)	希望コース(複数可)	懇親会(有料) (3,000 円)
		LSI 工場・分析機器・工作機械		参加・不参加
		LSI 工場・分析機器・工作機械		参加・不参加
		LSI 工場・分析機器・工作機械		参加・不参加
		LSI 工場・分析機器・工作機械		参加・不参加

平成29年度 定例記者会見日程予定

- 第1回 平成29年 4月18日（火） 11：00～
- 第2回 平成29年 5月23日（火） 11：00～
- 第3回 平成29年 6月20日（火） 11：00～
- 第4回 平成29年 7月11日（火） 11：00～
- 第5回 平成29年 9月12日（火） 11：00～
- 第6回 平成29年10月17日（火） 11：00～
- 第7回 平成29年11月14日（火） 11：00～
- 第8回 平成29年12月19日（火） 11：00～
- 第9回 平成30年 1月16日（火） 11：00～
- 第10回 平成30年 2月20日（火） 11：00～

場所はすべて本学大会議室（事務局3階）を予定しています。場所、日程は現時点での予定であり、都合によって変更の場合があります。定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以上